

金剛峯寺山林部の今!!

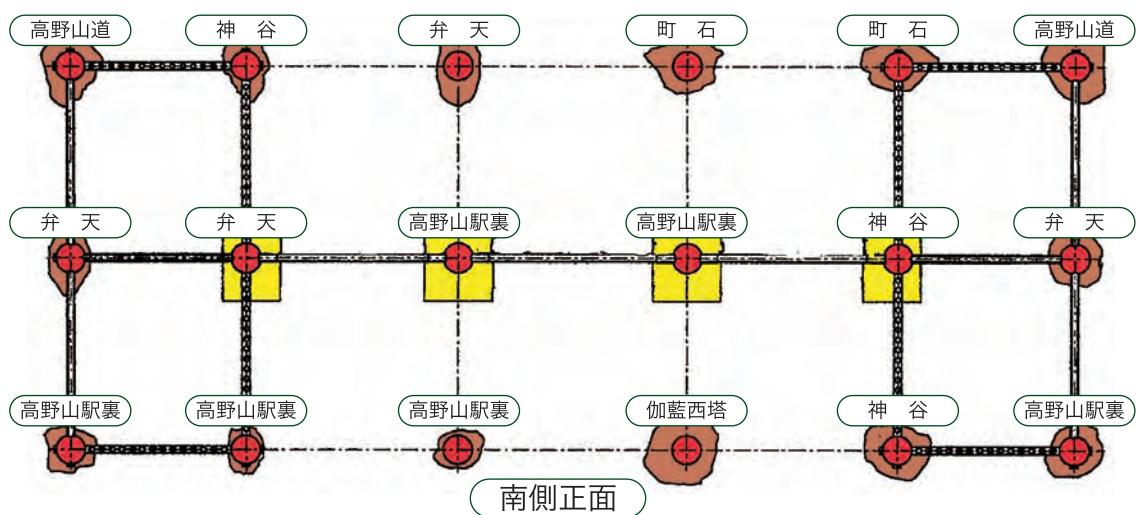
2012  
秋号

**FREE  
PAPER**

A wide-angle photograph of a massive industrial building under construction or renovation. The structure features a complex network of steel beams and columns supporting a translucent or glass roof. Light filters through the roof, illuminating the interior and casting shadows. The foreground is dominated by large, bold, white Japanese characters overlaid on the image.



伽藍中門再建工事  
下層柱位置



高野山開創1200年記念大法会  
法会期間 平成27年4月2日～5月21日



今回は中門用材のこと

開創法会後の「山林護持」を含め  
山林部の今!!を記述いたします。

## 中門用材

師の信仰団体)の環境整備費より援助していただきましたことを、誌面をお借りして御礼と報告を申し上げます。

伽藍中門再建に係る山林部事業としての伐採、搬出、製材はほぼ完了いたしました。

中門の材料として祖山のヒノキを7割以上使用する事ができました。また製材の段階で宗祖大師の山の木は、とてもいい材ばかりだとの評価でした。すばらしい『中門』が完成されるでしょう。伽藍の荘厳な雰囲気をより際立たせるものと考えます。

4月には奥之院御廟内の支障木(枯木・建物に悪影響木・生育不良木等)の整備を完了いたしました。伽藍整備は道路にはみ出した馬酔木(龍光院側周辺)・広葉樹(報恩院向い側)等の枝払いを実施し車輛通行に支障がないようにいたしました。伽藍内の枯木・堂塔の屋根に悪影響のある枝、景観上問題の枝等々の枝払いを順次実施いたします。この

## 分収造林

森林セラピーとは「森へいくと気持ちがいい」という森林浴の考え方を進め、森林の持つ癒し効果を認め「健康増進」「予防医学」「リハビリテーション」に役だてようと国・地方自治体・企業・大学研究機関等が参加し進められているプロジェクトです。平成19年3月に高野町は近畿地方で初めて「森林セラピー基地」として森林セラピーステアリングコミッティ認定をいたしました。

以上、山林部の今!!を紹介いたしました。

気候の関係で5月～10月が最適と考えます。実施内容の代表的コースは『転軸山周遊コース』です。一の橋より奥の『阿息觀』や木々の間にハンモックを吊して安息タイムなどの体験をしていただきます。

## 森林セラピー

後の一育成事業全てを行い、80年後皆伐(すべて伐採する)して市場に出し収入金額の一部を契約通りに国に納める事業です。現在の木材市場相場を考慮いたしますとかなり厳しい現状がございます。そこで就任後、総長と共に林野庁及び環境省に行き、伐期の延長をお願いいたしました。その結果、林野庁の分取造林に関わる法律の一部改正が国会で成立いたしました。



## シカ被害

平成22年度の新植地でのカモシカによる食害によりヒノキ苗はほぼ全滅状態となりました。

再度植え付けを行うにあたり苗木の保護のためチューブを導入する為に、龍神村森林組合に出向き施行地の視察を行いました。再度の植栽に向け検討中です。



龍神村での施行例



幹だけ残った苗木

## 寺院提供材

高野山真言宗末寺への本堂新築に伴う高野靈木の提供をいたしました。

奥之院周辺より搬出した樹齢約100年のヒノキは後に本堂の柱として末永くお寺をお守りいたします。



一本一本高野靈木の印を入れてお届けします。



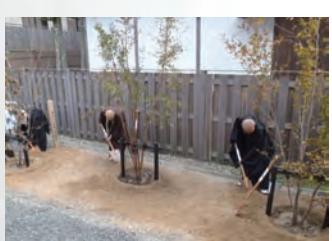
## 献木植樹祭

文化財再建において高野山で育んだ用材を使うことは生かせいの象徴であり「共利群生」を体現しています。

このヒノキが中門を支える下層柱の1本として使用されています。



山林経営委員会の様子



平成23年度献木記念植樹として伽藍  
中門作業館横に  
・ヤマボウシ  
・ヒメシャラ  
・ナツツバキ  
の3種を植えさせていただきました。

おかげさまで毎年1,000件以上の  
献木をいただいております。

# 高野六木

## コウヤマキのお話

呼び名は高野山に多く自生しているためです。

高野山では供花として重宝され、先祖の靈がコウヤマキの葉に乗って帰つてくると言われる京都のお盆行事も有名です。

コウヤマキは高野六木の一つで秋篠宮家の悠仁親王のお印に選ばれたことでも話題となりました。また東京スカイツリーがコウヤマキをイメージされたといいます。



# 献木運動

私たちは「共利群生」を理念として森林整備を続けています。

高野山の幽玄な雰囲気を創出しているのが、奥之院参道沿いに立ち並ぶ大杉林や金剛峯寺・伽藍の境内林、周囲の山々の成熟した森林で、高野山にとって美しい森林は不可欠なものとなっています。

この山々を保護育成していくには、植えるだけではなく間伐等様々な手入れが必要とされます。祖山莊嚴に欠かせぬ高野山の緑を後世に引き継ぐためには想像以上の森林整備や管理が必要です。その環境を維持していくために、献木として山づくりに参画してください。

お大師さまの思想である「共生」を体現すべく、たくさんの命のつながりの中で私たち人間もその一員として共に生かされています。

そして未来のために今できることは自然豊かな聖地高野山の森林護持を継承する事です。



木製干支力レンダ  
松長有慶座主短冊付  
価格 3500円



一千年。二千年。

変わらぬ価値がある。

## 編集後記

木は黙して語らずとも大切な事を教えてくれます。「同じ木目はこの世に存在しません。」子どもたちに木をとおして、もっと自分のオンリーワンの個性を好きになってもらい、未来に可能性を感じていただきたい。

「木がほんとうに堅くなるには数10年から数100年の年月が要ります」人も同じ。多くの経験をして大切なモノを得るはずです。木をとおして壮年の方々にもっと元気になっていたい、お年寄りの方々のご経験に皆がもっと尊敬の念を持つ世の中にしたい。木が私たちを育んでくれる。だから私たちも木を植える。共に育みあう「共育」。私たちは小さな子どもに大切な事を教わる。人と人も「共育」、森林セラピーを通じてみんなで学ぶ「木育」を推進してまいります。

ウェブでも情報発信中!!

<http://koya-forest.jp/blog/>

山林部ブログ

検索

### お問い合わせ

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山132  
金剛峯寺 山林部  
TEL.0736-56-2016(直) FAX.0736-56-4640

### 『献木』お振込先

振替用紙をご送付致しますので、山林部までご連絡下さい。  
郵便振替口座: 大阪 00930-6-61758  
ゆうちょ銀行: ○九九支店 当0061758 加入者名: 宗教法人 金剛峯寺山林部